

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名		阪神高速道路大和川線事業			シート番号	
担当部署名		建設 局 道路 部 大和川線推進 課			評価責任者(課長名)	
					加勢	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	大和川線は、平成7年に都市計画決定し、平成11年度に阪神高速道路公団が事業に着手したが、平成17年10月の道路公団民営化による事業区分の見直し、並びに本市の政令指定都市移行を経て、平成18年4月から大阪府、阪神高速道路㈱と連携し事業を推進している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	沿線地域住民及び高速道路利用者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	大和川線は、都市再生プロジェクトに位置づけられている「大阪都心部における新たな環状道路」の一部を担う道路であり、整備に伴い、大阪南部地域における東西方向一般道の交通混雑が大幅に緩和されるなど、関西都市圏の社会経済活動の活性化に大きく寄与する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	大和川線は、阪神高速道路4号湾岸線と同14号松原線を連絡する全長約9.9kmの自動車専用道路であり、そのうち本市の施行区間は北区常磐町から堺市と松原市の市境界までの約1.6kmである。事業は、本市、大阪府ならびに阪神高速道路株式会社との三者が共同して進めており、現在は令和元年度末の全線供用開始を目指し工事を進めている。また、大和川線の上面等についても、連続した通行環境の整備を進めている。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 大阪府、阪神高速道路株式会社、有限会社青山造園土木、株式会社建設技術研究所					

Ⅲ. 投入量

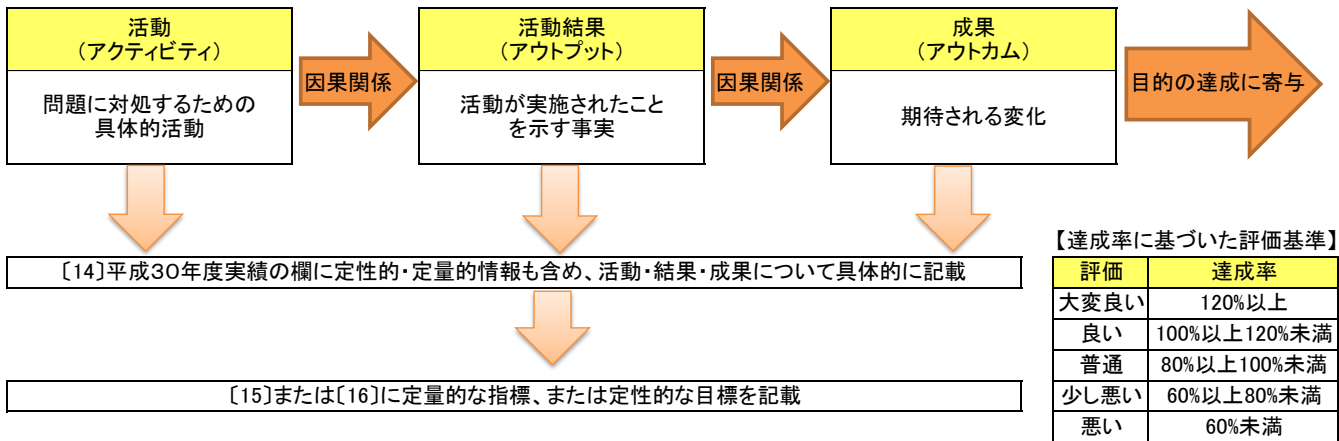
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	9,692,465	6,702,042	5,188,958	7,830,936	
	主な事業費内訳	工事委託費等(機構改革に伴う追加業務を含む)	千円	9,688,944	6,687,427	4,837,007	7,811,564
		用地費	千円	0	0	345,714	0
		その他	千円	3,521	14,614	6,237	19,372
	財源内訳	国・府支出金	千円	6,578,784	4,451,641	3,312,310	4,954,655
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	3,093,000	2,037,600	1,667,400	2,512,400
		その他( )	千円	0			
	12 人件費 (b)	千円	73,800	73,800	73,800	48,600	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	9,766,265	6,775,842	5,262,758	7,879,536	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	阪神高速道路大和川線事業	シート番号	19-64
-------	--------------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14		<p>平成18年度から着手している大和川線事業について、平成30年度も継続して、阪神高速道路株式会社および大阪府と綿密な調整を行いながら、工事を推進した。 (工事進捗状況) ○大阪府委託区間 シールドトンネル付帯工事:竣工 常磐東開削トンネル工事:本体構造物完成 ○阪神高速道路株式会社委託区間 シールドトンネル工事:竣工 開削トンネル工事:本体構造物完成、ランプ擁壁構築中</p> <p>(事業進捗率) 平成28年度時点 達成率78% (実績値76,758,000(千円)/総事業費98,700,000(千円)) 平成29年度時点 達成率85% (実績値83,410,000(千円)/総事業費98,700,000(千円)) 平成30年度時点 達成率90% (実績値88,516,000(千円)/総事業費98,700,000(千円)) (注)平成27年度に総事業費が79,500,000(千円)→98,700,000(千円)に増額</p>			
	15	目標				
		令和元年度末の全線供用開始				
		目標に対する実績	本体構造物完成、ランプ擁壁構築中			
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
		評価				
		算出方法・設定根拠など				

#### 業績の分析

17		目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
		令和元年度末の全線供用による整備効果発現に向け、各年度で必要となる工事進捗を図っている。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。